

グローバル市場の需要伸長に対応する安定供給体制の構築のため ベトナムに水栓金具の新工場を建設

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)のグループ会社であるTOTO VIETNAM CO., LTD.(本社:ベトナム社会主義共和国ハノイ市、社長:浅田 協二)は、ベトナム北部のビンフック省に取得した敷地に新たな水栓金具工場を建設します。本工場は2022年1月着工、2024年3月稼働を予定しています。

水栓金具は、バスルーム^{※1}空間に彩りや品格を与えるアイテムとして、高いデザイン性が求められます。TOTOは2017年よりデザイン性の高いグローバル統一モデルのラインアップを拡充しており、2021年には新たに自動水栓10シリーズが加わりました。

本工場は、グローバル市場における更なる水栓金具の需要伸長にあわせ、高品質な水栓金具の安定供給体制を強化する新たな基幹拠点となります。最新鋭の水栓金具工場として、ビッグデータ活用による良品率の向上、設備の自動化・工程間の連動化により生産性向上を図ります。

さらに、太陽光発電や、廃熱を利用したインフラ設備導入などによりCO₂排出量を削減することでカーボンニュートラル^{※2}達成をめざします。また最新の排水処理設備によりめっき工程で使用する水をリサイクルし、環境負荷を最小限に抑えます。

TOTOは、「新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030」で目指す姿である「きれいで快適・健康な暮らしの実現」「社会・地球環境への貢献」へ向けて、TOTOならではの「サステナブルプロダクト^{※3}」の生産・供給体制を強化し、世界中のお客様に確実にお届けしてまいります。

※1:海外で一般的な、トイレ、洗面、シャワー(+浴槽)の3つの水まわりが1つの空間に設置された部屋のこと ※2:クレジット購入によるカーボンオフセットを併用します ※3:TOTOは、「きれいと快適」と「環境」の両立を実現した商品を「サステナブルプロダクト」と定義し、2030年度に「サステナブルプロダクト」の商品構成比78%(2020年度69%)をめざしています



完成予想CG



生産予定の水栓金具グローバル統一モデルの一例
(左:自動水栓 右:手動水栓)

上記写真の高解像度データは、下記URLの当該ニュースリリースよりダウンロードいただけます。
<https://jp.toto.com/company/press/>

TOTOの水栓金具生産体制

日本

- ・TOTOアクアテクノ株式会社
本社・小倉工場
大分工場
- ・サンアクアTOTO株式会社

アジア地域

- ・東陶(大連)有限公司
- ・東陶機器(広州)有限公司
- ・東陶(上海)有限公司
- ・台湾東陶股份有限公司
- ・TOTO (THAILAND) CO., LTD.
- ・TOTO VIETNAM CO., LTD. ※2024年3月稼働予定
- ・P.T.SURYA TOTO INDONESIA (関連会社)

米州

- ・TOTO U.S.A., Inc.

TOTOベトナム水栓金具工場について

生産品目	水栓金具(洗面用・浴槽用の手動水栓、自動水栓など)
投資金額	約100億円
生産能力	約120万個／年
住所	Thien Ke Commune, Binh Xuyen District, Vinh Phuc Province, Vietnam
敷地面積	約10万m ²
建築概要	建築面積:約2.8万m ² 延床面積:約3.8万m ² 2階建 鉄骨造
着工	2022年1月
稼働予定	2024年3月

TOTOベトナムについて

名称	TOTO VIETNAM CO., LTD.
社長	浅田 協二
事業内容	衛生陶器および水栓金具の製造・販売
設立	2002年3月
本社住所	Lot F-1, Thang Long Industrial Park, Kim Chung, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam
従業員数	約4,800名 ※2021年11月現在
沿革	2002年:TOTOベトナム設立 2004年:ハノイ市に第1工場(衛生陶器)稼働 2006年:第1工場の敷地内に第2工場(衛生陶器)稼働 2016年:ホーチミン市に直営ショールームを開設 2018年:フンイエン省に第3工場(衛生陶器)稼働 2021年:ハノイ市に直営ショールームを開設 2022年:第3工場の敷地内に第4工場(衛生陶器)稼働予定(7月) 2024年:ビンフック省に水栓金具工場稼働予定(3月)

新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれい快適



環境



人とのつながり



「環境・社会的価値」と「経済価値」を同時に実現する新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030では、「きれい快適」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」として経営とCSRの一体化に取り組み、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/ir/individual/vision/index.htm>